
よさの
まちづくり
データブック

概要版



人口構造

人口 (R7年)

19,402人

高齢人口(65歳以上)

7,578人

年少人口(0~14歳)

1,876人

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

POINT

与謝野町の総人口は2万人を切っており、65歳以上の高齢者が約4割を占めています。

未婚率 (30代前半)

H27年

R2年

男性 43.8% ▶ 50.2%

女性 26.4% ▶ 35.1%

出典：総務省「令和2年国勢調査」

POINT

30代前半の未婚者は男女ともに増加しています。

転入・転出 (R6年度)

転入

412人

転出

571人

出典：企画財政課

159人
減少

POINT

転出者数が転入者数を上回る転出超過の状態となっています。

定住意向 (R7年度)

転出したい

6.7%

住み続けたい+
いずれは戻ってきたい

67.3%

出典：住民アンケート調査報告書

POINT

与謝野町に住み続けたい人は約7割となっており、地域への定着意識の高さがうかがえます。

将来人口 (R17年)

R7年
19,402人

R17年

15,101人

約22%
減少

高齢人口(65歳以上)

6,947人

人口の
46%

年少人口(0~14歳)

1,203人

人口の
8%

出典：国立社会保障・人口問題研究所
「日本の将来推計人口(令和5年推計)」

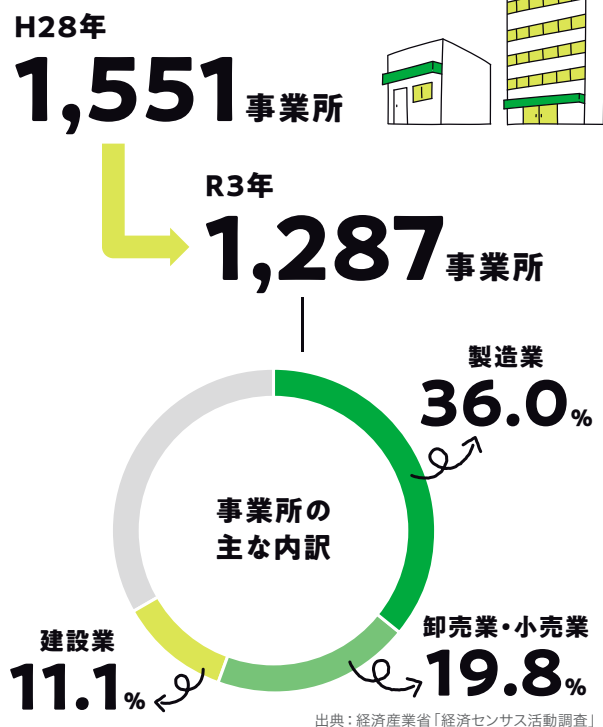
POINT

令和17(2035)年には、人口が現在の水準から約22%減少すると予測されています。

●高齢化と人口減少が進行し、転出超過や若年層の未婚化も顕著です。住み続けたいと願う住民は約7割にのぼるものの、令和17年には人口が約4分の3となり、高齢者が半数を占める見通しであり、定住促進と若年層の定着が急務です。

産業・仕事

事業所数



POINT

事業所数は、約2割減少しています。
織物業を含む製造業が3割強を占めています。

第1次産業就業者 (R2年)

29歳以下 **6.8%**

60歳以上 **65.3%**

出典：総務省「令和2年国勢調査」

POINT

農業・林業などの第1次産業では、60歳以上の就業者が6割を超えています。

人口1,000人あたりの織物業 事業所数・従業者数 (R3年)

9.3 事業所 **23.2** 人

(京丹後市：9.0事業所 18.2人)

出典：経済産業省「令和3年経済センサス活動調査」

POINT

人口1,000人あたり事業所数は全国2位、従業者数は全国1位で、名実ともに「織物の町」と言えます。

与謝野町の気になるところ (R7年度)

働く場が少ないこと
53.0%

出典：住民アンケート調査報告書

POINT

住民の半数以上が「働く場が少ないこと」を課題と感じています。

主な通勤先 (R2年)

与謝野町内
50.3%

出典：総務省「令和2年国勢調査」

宮津市
18.9%

京丹後市
12.8%

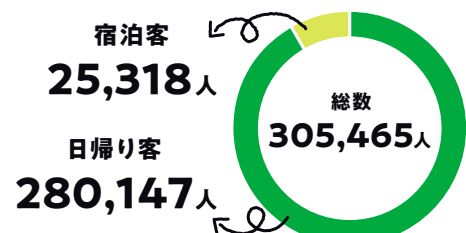
POINT

町内で働く人が約5割となっています。

●事業所数の減少や第1次産業の担い手不足など、地域産業には深刻な課題が見られます。一方で、地域の特色である織物業は他業種と同様に縮小傾向にあるものの、人口比に対して全国屈指の事業所数と従業者数を誇っており、依然として重要な産業基盤となっています。

観光・交流・移住定住

観光入込客数 (R6 年度)



出典：令和6年京都府観光入込客等調査報告書

POINT 日帰り客が全体の約9割と大部分を占めています。

ふるさと納税



出典：企画財政課

POINT お礼品の増加とともに、ふるさと納税寄附額も増加しています。

施策満足度 (R7 年度)

まちの魅力を活かした移住・定住

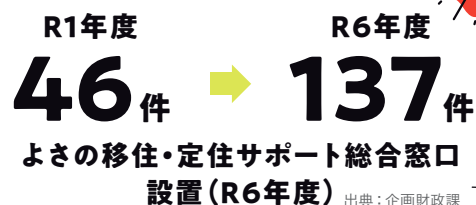
不満+やや不満
37.3%

出典：住民アンケート調査報告書

POINT 住民の約4割が移住・定住施策に不満を感じています。

移住相談件数

与謝野の強み



出典：企画財政課

POINT 相談窓口設置などの取り組みを進めた結果、相談件数は約3倍となっており、過去最高となりました。

移住者数・世帯数

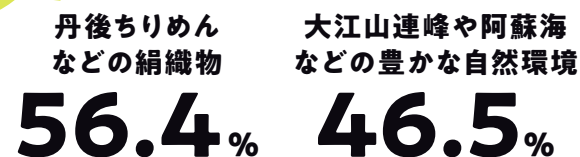


出典：企画財政課

POINT 移住者・世帯ともに増加し、過去最高となりました。

その他
高かったもの
・春祭りや地域行事
・歴史的景観

町の紹介したいところ (R7 年度)



出典：住民アンケート調査報告書

POINT 住民は絹織物や自然環境が与謝野町を象徴するものだと考えています。

●移住・定住施策については、移住者数(世帯数)が令和6年に過去最高となり、相談件数も約3倍となるなど成果がみられるものの、住民の満足度は高まっています。

健康・福祉

健康寿命 (R6年度)

男性 **80.1** 歳 女性 **83.8** 歳
(R5年度府平均: 男性79.8歳 女性84.0歳)

出典: 保健課

POINT

健康寿命(0歳平均自立期間)は、男女ともに府平均と同等となっています。

人口1,000人あたりの医療機関数 (R4年)

府内
26市町村
10位

1.4 施設
(府平均: 1.5施設)

出典: 令和5年京都府統計書

POINT

府平均を下回っているものの、府内では10位に位置しています。



施策重要度 (R7年度)

健康・福祉を支える人材の育成と確保

重要+やや重要
73.2 %

出典: 住民アンケート調査報告書

POINT

医療・福祉人材の重要性が高まっています。

人口1,000人あたりの福祉事業所数 (R4年)

0.78 事業所
(府平均: 0.58事業所)

出典: 京都府保健福祉統計(令和4年)

府内
26市町村
7位

POINT

府平均を上回っており、府内でも7位と上位に位置しています。

認知症サポーター数

R1年
4,783人

R6年

6,321人

約**20**%
増加

出典: 厚生労働省「認知症サポーターキャラバン(各年6月末時点)」

POINT

年々増加しており、認知症を支える体制が整備されています。

いきがいを持って暮らせているか (R7年度)

52.1 %

出典: 住民アンケート調査報告書

POINT

住民のいきがいづくりに向けた取り組みが必要です。

- 府内の中でも医療機関数、福祉事業所数が充実しており、安心して暮らせる環境が整っています。
- 健康寿命が延びる中で、住民の一人ひとりがいきがいを持って暮らせる環境づくりが重要となっています。

子育て

出生数

約**39%**
減少

R1年度 **122**人 → R6年度 **75**人
出典：子育て応援課

POINT

出生数は100人を下回り、少子化が進行しています。

人口1,000人あたりの 認定こども園職員数 (R5年度)

1.6人
(府平均:1.2人)
出典：令和5年京都府統計書

POINT

府平均と比較し、職員数は多くなっています。

施策満足度 (R7年度)

新たな命の誕生を応援

満足+やや満足
R6年度 **30.2%** → R7年度 **20.4%**
出典：住民アンケート調査報告書

POINT

出産への支援の満足度は減少しています。

待機児童数

R1年度～R6年度

0人
出典：子育て応援課



POINT

0人を継続しています。

虐待ケース管理件数

R1年度 **62**件 → R6年度 **115**件
出典：子育て応援課

POINT

与謝野町要保護児童対策協議会で管理している虐待ケース数は増加傾向にあり、約倍増しています。

与謝野町で子育て したいですか (R7年度)

20～40代
55.4%
出典：住民アンケート調査報告書

POINT

子育て世代は半数以上が与謝野町での子育てを望んでいます。

●出生数・出産支援への満足度ともに減少しており、安心して子を産み育てられる環境整備や支援の充実が求められています。

教育・スポーツ・文化

児童・生徒数

R1年度 R6年度

小学校 957人 ▶ 854人

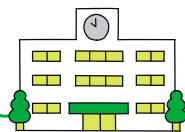
中学校※ 696人 ▶ 541人

※橋立中含む
出典：学校教育課

POINT

人口減少の影響を大きく受けています。

不登校者数



R1年度 R6年度

小学校 8人 ▶ 10人

中学校※ 20人 ▶ 48人

※橋立中含む
出典：学校教育課

POINT

倍増しており、早急な対策が必要です。

全国学力学習状況調査 (中学校3年生 / 平均正答率)

R7年度	国語	数学
与謝野町※ ¹	51.0%	41.0%
中学校組合※ ²	54.0%	41.0%
府平均	55.0%	49.0%

※¹ 加悦中、江陽中 ※² 橋立中
出典：文部科学省「令和7年度全国学力・学習状況調査結果」

POINT

国語、数学ともに府平均を下回っています。

地域への愛着度

与謝野の
強み

R3年 R6年

69% ➡ 82%

出典：宮津天橋高校加悦谷学舎アンケート

POINT

宮津天橋高校加悦谷学舎と進める高校魅力化事業推進の成果として、地域への愛着度が向上しています。

生涯学習・公民館講座 参加者数



R1年度 R6年度

4,194人 ➡ 3,388人

出典：社会教育課

POINT

参加者数はコロナ以降、減少しており、回復していません。

施策重要度 (R7年度)

文化財の継承と活用

重要+やや重要

49.9%

出典：住民アンケート調査報告書

POINT

教育・スポーツ・文化分野では、文化財に関する施策の重要度が高くなっています。

●教育分野では、不登校の増加が懸念される一方、若者の地域への愛着や文化施策への関心は高まっています。

環境・暮らし・生活基盤

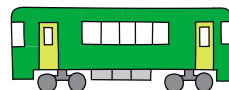
1世帯あたりの自動車保有台数(R5年度)

2.1台
(府平均:1.1台)

出典: 令和5年京都府統計書

公共交通の利用頻度
ほとんど利用していない
鉄道81% バス87%

出典: 京都市北部地域連携都市圏
公共交通計画策定のためのアンケート調査



POINT

自動車を持っている人は府平均と比べて多くなっています。その影響もあり、公共交通を利用する人は少なくなっています。

今後どのような「まち」であってほしいか (R7年度)

買い物など日常生活が
便利なまち

43.3%

出典: 住民アンケート調査報告書

1,000人あたりの
卸売業・小売業事業所数

12.5事業所
(府平均:10.2事業所)

出典: 令和5年京都府統計書

POINT

約4割の住民が日常生活の利便性を望んでいる一方で、卸売業・小売業の事業所数は府平均を上回っており、地域の生活基盤は比較的整っています。

行財政

財政の状況

経常収支比率

R1年度

R6年度

数値が高いと、義務的経費以外に使える
財源に余裕がないことを示しています。

96.8% ▶ **90.2%** (府平均:
R5年度92.6%)

実質公債費比率

数値が高いと、借金返済の負担
が大きいかを示しています。

17.0% ▶ **15.8%** (府平均:
R5年度8.5%)

出典: 企画財政課

POINT

ともに令和元年度と比較すると減少しており、財政状況の改善がみられます。

与謝野町

4.08㎡

府平均

2.01㎡

出典: 令和5年度与謝野町財政状況資料集

人口1人あたりの
公共施設※面積
(R5年度)

※認定こども園、学校施設、公民館、図書館、
体育館・プール、市民会館、庁舎

POINT

府平均の約2倍となっています。

- 公共交通は、地域の移動手段として役割を果たしていますが、さらなる利便性の向上が求められます。
- 財政面では、財政運営の柔軟性が徐々に回復しており、現時点では健全な財政運営と言えますが、人件費や物件費の増加などにより、厳しい財政状況が続く見通しです。